



突然の解散

# 日本共産党の躍進で、暮らし第一・平和外交へチェンジを

高市首相は通常国会冒頭での解散、総選挙に踏み切り、1月27日公示、2月8日投開票となりました。

「強い経済のため、自民維新連立政権の信を問う」と高市首相は表明していますが、今回の解散・総選挙は、内政・外交の行き詰まりと、首相自身が政治と金のスキャンダルなどによって追い込まれた結果の、疑惑隠しの解散です。

- ① 円安、物価高騰に有効な手が打てない。
- ② 台湾有事発言やトランプ大統領の侵略行為を批判できない事などで、経済界からも批判。
- ③ 奈良選挙区での違法献金や統一教会との癒着。

これらが通常国会で追及されれば、内閣支持率が急速に下がって高市内閣は持たないので、明らかになる前に解散に踏み切り反動的に打開しようとしています。



江南駅前で、横断幕を掲げて後援会の宣伝活動

1月臨時市議会

## 会計年度任用職員の報酬とボーナスがようやく4月遡及改定

1月15日に市議会臨時会が開かれました。

人事院勧告に準じた市職員、特別職の給与、期末・勤勉手当のアップ。さらに特別職報酬審議会の12月答申も踏まえた議員、市長などの報酬アップに関する条例改正案とそれらを盛り込んだ一般会計補正予算5億8268万円など7議案が提案されました。

議員、市長などの報酬、給与は今任期中据え置くこととなりましたが、期末手当は4月に遡り0.05ヶ月分アップの条例改定であつたため、党議員団は反対しました。 党議員団の討論は⇒



なお、会計年度任用職員だけ報酬やボーナスが4月に遡って改定されない理不尽な対応が2年続いてきました。党議員団は非正規差別だと厳しく追及してきましたが、ようやく今回から遡及改定が実現しました。

国の重点支援交付金事業のうち1月臨時会補正予算に計上されたのは

- ① 民間保育所等への給食食材費に対する補助金 1648万9千円
- ② 江南厚生病院への応援金 1000万円

他に、児童手当支給対象児童1人2万円を支給する予算3億2111万5千円や、地方交付税の増額5億2781万円も計上されました。

## 西尾市中心市街地活性化事業を視察(建設産業委員会)

建設産業委員会で、1月16日、西尾市の中心市街地活性化事業を視察しました。

西尾市でも江南市同様、中心市街地がシャッター通りとなっていましたが、R3年の市長交代後、行政、民間事業者、市民ら2400人以上が集まり「にしおまちなか未来ビジョン」を策定。

出店、イベント等開催希望者が50人以上創出されています。主な事業は

**空き店舗活用事業**

物件マッチング、改装費補助上限200万円

R4年度～6年度 13件（飲食・古着・ゲストハウスなど）

**市民プロジェクト**

①水あそびイベント ②呑み歩きイベント ③若者交流チーム等

**西尾未来共創拠点ニコラボ**

民間事業ビジネス支援拠点、 中心市街地のまちづくり支援拠点



まちなかや市民の中に入り、市街地を活性化しようという担当課職員の熱量のすごさを感じました。